

慣用句や正しいかなづかいを知る

名前

学習日

ポイント

- 慣用句について理解しましょう。
- かなづかいを理解しましょう。

基本問題

1

次の(1)～(6)の慣用句の意味を、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 顔から火が出る

(2) 鼻を明かす

(3) はらをわる

(4) うでによりをかける

(5) 手を焼く

(6) 足をあらう

ア うまくあつかうことができなくて、こまる。

イ とてもはずかしい思いをする。

ウ かくさないで、本心を打ち明ける。

エ 好ましくないことをやめる。

オ 出しぬいて、あつと言わせる。

カ 自信のある能力を十分にはつきしようと意気こむ。

2

次のそれぞれの言葉を、かなづかいに注意して、ひらがなに直して書きなさい。

(1) 氷水

(2) 三日月

(3) 底力

(4) 大通り

慣用句や正しいかなづかいを知る

名前

学習日

チャレンジ問題

1

次の(1)～(3)の慣用句の□に入ることばを書いて答えなさい。

(1) □のねずみ (意味…追いつめられて、にげることができない)

(2) 焼け石に□ (意味…努力や助けが少なくて、全く役に立たない)

(3) □を投げる (意味…うまくいく見こみがなくて、とちゅうでやめる)

2

次の(1)～(3)の慣用句の組の二つの□に共通して入ることばを書いて答えなさい。

(1) □をひねる／□を長くする

(2) □を貸す／□がいたい

(3) □が広い／□をつぶす

3

次のそれぞれの文の——線部を、正しいかなづかに直して書きなさい。

(1) お母さんが作ってくれたとんちるは、とてもおいしくて体がばかばかと温まった。

(2) セーターのそでがちじまないように、注意してあらう。

(3) 近所で工事をやっていて、ひとばんちゅうねおれなかった。

慣用句や正しいかなづかいを知る

基本問題

解答	アドバイス
<p>1 (1) イ (2) オ (3) ウ (4) カ (5) ア (6) エ</p> <p>2 (1) こおりみず (2) みかづき (3) そこちから (4) おおどおり</p>	<p>1 (1) はずかしさで顔がまっかになる様子を表します。  (2) 「鼻」を用いた慣用句には、このほか「鼻が高い」「目から鼻へぬける」などがあります。  (3) 「はら」を用いた慣用句には、このほか「はらが黒い」「はらをかかえる」などがあります。  (4) 「うで」を用いた慣用句には、このほか「うでが鳴る」「うでを上げる」などがあります。  (5) 「手」を用いた慣用句には、このほか「手を広げる」「手がかかる」などがあります。  (6) 「足」を用いた慣用句には、このほか「足がばうになる」「足をのばす」などがあります。</p> <p>2 (1)・(4) 「オー」とのばす音は、ふつう「おとうさん」「おうさま」などのように、「う」を用いて表記しますが、「氷」「大きい」「多い」「通る」「遠い」などののばす音は、「お」を用いて表記します。  (2)・(3) それぞれ、「三日」＋「つき」、「底」＋「ちから」なので、「つ」「ち」がにこった「づ」「ぢ」の表記になります。</p>

慣用句や正しいかなづかいを知る

チャレンジ問題

解答	アドバイス
<div>1 (1) ふくろ (2) 水 (3) さじ</div> <div>2 (1) 首 (2) 耳 (3) 顔</div> <div>3 (1) とんじる (2) ちぢまない (3) ひとばんじゅう</div>	<div>1 (1) 「ねずみ」のような、動物の名前を用いた慣用句も数多くあるので、覚えておきましょう。</div> <div>2 (1) 「首をひねる」は、不思議に思うこと。「首を長くする」は、今か今かと待ちこがれること。 (2) 「耳を貸す」は、人の言うことを聞くこと。「耳がいたい」は、他人の言葉が自分の弱点についていて、聞くのがつらいこと。 (3) 「顔が広い」は、知り合いが多いこと。「顔をつぶす」は、面目を失わせること。</div>